

トーマス通信

秋号

vol.01



豊かな実りは自然の土壌から

トーマス通信キャラクター「トーマスくん」

僕は、トーマスくんです。茨城生まれですが、5年前からバイオ・グリーンにお世話になり、みんなに可愛がってもらってるよ♥僕も一生懸命お手伝いしています。宜しくネ!



自然環境農法の基本は

「健康」な「土づくり」から

**障害
対策**

障害の改善・軽減を図り作物の健全生育を促し、
高品質な農産物の
生産と多収量により

安定経営

発刊にあたり

理事長
大橋 伸一



農家の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととご拝察申し上げます。

昨年から今年にかけて異状気象が続き、農作物にとって一番大事な日照量が少なく又、地域によっては大雨に見舞われるなど、農作物は基より、生活基盤もおびやかされるなど、被害に見舞われた農家の方々に対しては心よりお見舞い申し上げます。

さて、本研究会は「化学的に合成された肥料や農薬を中心とした農法」から有機質肥料を中心に土壌有用微生物【トーマスクン】を活用した、環境に優しい健康な土づくり技術「自然環境農法」の研究と普及を行うとともに、品質・収益性の高い農産物の生産と供給に関する情報の収集・提供により「食に対する安全と安心に寄与」する事を目的に、平成20年7月に設立いたしました。

情報誌の発刊は本会の事業の柱の一つですが、発足初年度は年度の途中であったことや、諸般の事情により、発刊が遅れてしまいましたことを、紙上をお借りしまして会員の皆様に深くお詫び申し上げます。

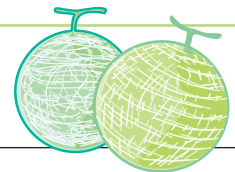
情報誌につきましてはタイトルを「トーマス通信」とし、紙上交流・交換の場として位置づけておりますので、会員方々の栽培実績、感想など、積極的に情報提供を頂ければ幸いに存じます。

会員皆様が相互に向上して行くことは、経営の発展に結びつくものと確信しております。

どうか会員の皆様の益々の発展とご健勝をご祈念申し上げまして発刊のことばと致します。



【今月号の表紙】



渡辺様は、自然環境農法を10年前から取り入れ、毎年安定した栽培をしている第一人者です。主に、促成トマト30aや、お彼岸に向けてのアールスメロン15a、他に稲作や直売向け野菜などを栽培していますが、地域では毎年高品質な栽培には定評があり、メロンは軒先販売で、皆さん収穫を待って買い求める常連さんで完売してしまいます。各方面から視察者が訪れますが、快く引き受けて下さり、土づくりが一番ですと、毎回笑顔でお話をして下さいます。



生育状況



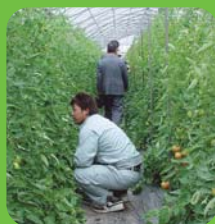
ネット状態



土壌団粒化



メロン根張り



視察状況



トマト根張り状況



栃木県宇都宮市東刑部町1147
渡辺耕治様

渡辺様のコメント

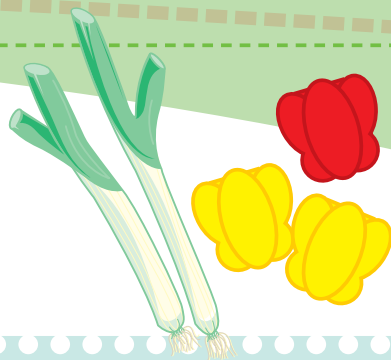
私も以前から微生物には興味がありました。そんな折大橋会長にトーマスクンを紹介されたのがきっかけとなり使い始めましたが、まさか初年度からこんなに、土が変わったり、生育状態も良いし、微生物資材がこんなに効果が現れるものとは思っていませんでした。それ以来毎年使っていますが、おかげさまで安心と言うか、栽培が楽になりましたね。土壌がよければ根張りも良くなるし、病害なども少ないし、やはり農業は何と言つても土を一番大切にすることが大事と思うね。

おかげで自分なり満足した栽培が出来ているし、お客様からもこのメロンは美味しいからと、わざわざ遠くから買えに来てくれると、うれしくなりますよ。

これからも自然環境農法で頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

『自然環境農法』栽培と経営紹介

高品質軟白ネギ・パプリカ栽培



栽培者 栃木県塩谷郡 ◆ 本間稔一様

本間稔一さん

本間様は、徹底した有機質資材と超減農薬栽培がモットーの方です。又写真で栽培状況を拝見しても伺える通り丁寧に管理された圃場はいつ見ても感心致します。4年前から当農法を採用していたき、水稲700a、軟白ネギ15a、その他パプリカ・大豆など栽培致しております。



【水稲】
種もみ消毒から、苗まで、トーマスくんで行っているワン



徹底した栽培管理の中、見事に成長している軟白ネギ栽培状況



パプリカ栽培状況



鈴なり状況



根張り状況

本間様のコメント

4年前からトーマスくんや、関連資材を使用し始めたが、土壌が良くなって来たのを肌で感じました。有機肥料の成分量などの調整に当初は苦労しましたが、年々分量や施用法がわかる様になり、現在ではそれなりのメンテが出来、品質にも満足しています。いいですね。土が良くなれば、当然根張りも良くなり、病気なども減少し、自分が考えている方向性にピッタリです。今後共更なる勉強を重ねて、消費者に喜ばれる農産物の栽培と経営向上に繋げていければと考えておりますので、今後もよろしく。



『自然環境農法』栽培と経営紹介



すべて、自根栽培と直販専用

栽培者 栃木県宇都宮市 ◆ 釜井敏男様

(栃木県名誉農業士・宇都宮市、宮のものづくり達人認定)

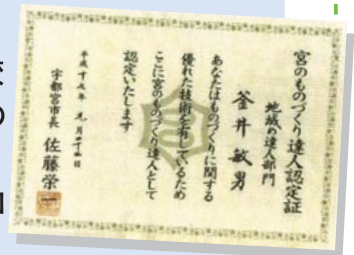
釜井様は、栃木県農業者の第一人者であり、長年にわたり名誉農業士として地域振興に貢献している方です。

当然、美味しさについては勿論、栽培においてもこだわりを持ち、作物づくりは、土づくりが大切なんだとは、釜井様の口癖です。苗づくりから、一貫しての自根栽培に余念がありません。

5年前より土づくり話で意気投合し、当農法を取入れ、「健康な土づくりから」をモットーに各種農作物を栽培、市内12箇所の主要直売店や学校給食に提供しております。釜井様が栽培した物は、お客様から定評があり(味の良さ、品質)、いつも最初に完売してしまうほどの大盛況です。

主な栽培品目は、トマト・キュウリ・ブロッコリー・小松菜・ほうれん草・トウモロコシなど、通年栽培で行っております。

釜井さんご夫妻



全て自根苗で栽培してますワン



苗づくり



キュウリ生育状況

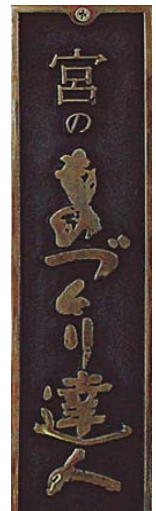


トマトも自根です



ブロッコリー栽培状況

栃木県名誉農業士・宇都宮市宮のものづくり達人認定



農業に対する愛情が素晴らしい農作物を作りだすんだワン!!



釜井様のコメント!

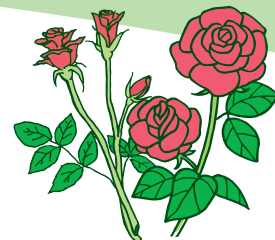
農業は土が命と私は考えています。

50年以上農業に携わってきましたが、いつも1年生のつもりで真剣に取り組みながら栽培をしてきました。そんな経験の中で、土さえ良ければ健全に育ってくれると思いながら45年が過ぎました。そんな折、大橋会長と出会い、自分が長年思い続けて来た土づくりの大切さを話して頂き、俺と同じ考えだと感銘しました。その日から自然環境農法的方式で栽培をしましたが、土が良くなるのが目に見えてわかり、現在では安定した栽培が出来、お陰で釜井さんの物は美味しいし安心できるからと、お客様が喜んでくれますので、作る張合いがあります。もう老年ですが、まだまだ意欲と情熱はありますから頑張りますよ、これからもお願いします。



ほうれん草栽培

『自然環境農法』栽培と経営紹介



高級バラ栽培(ブライダル関係で大好評)

栽培者 愛知県一宮市 ◆ 三輪栄一様

三輪様とは、岐阜県瑞浪生涯学習センターで行われた、第3回モラロジー全国農業者会議で始めて出会い、以来6年目になります。圃場に何う度に、喜んでいただいたり栽培者を紹介して頂いたり大変お世話になっているお方です。三輪さんのバラは東京を始め大都市のブライダル専門店向けの出荷が主だそうです。

お蔭様で素晴らしいです。土壌を見て下さい。良くなりまして、病気知らず、品質がよくお客様からも大変喜ばれ大人気ですと笑顔が耐えません。

先だっても本に紹介され沢山の方が視察に訪れ、人の出会いを大切に、楽しみながらの三輪さんですが、植物の心を良く理解している方です。

何う度に、こんな素晴らしい商品、トーマスくんとの出会い感謝感激との事です。

三輪栄一さん



こんなブーケだったら花嫁さんも喜びますワン



ふわふわとして本来の土の香りがする、最高の土壌環境になったワン



土壌環境が整った三輪さんの圃場では、品質の良いバラが栽培されています。



第3回モラロジー全国農業者会議



葉の艶もよく、健全さが伺えます。



切戻しても、元気そのもの。

三輪様のコメント!

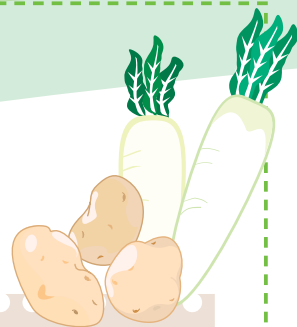
自然環境農法の講師を務めた大橋会長の話を受けて感銘を受け、早速アープ・トーマス・オルガ菌(トーマスくん)を使用し始めましたが、凄いですね。使用開始して1ヶ月頃より樹勢に変化が現れ始め、葉が厚みを増し、上を向くようになり元気の良さが伺え、花ピラも確りと色彩が鮮やかさを増して、品質収量共に向上して来ました。以来、年々土壌が良くなり安定した栽培が出来ます。連作障害もなくなり有りがたいです。

やはり、会長がおっしゃられる様に、植物も生態系は人間と一緒に植物の元気は健康な土作りからですね。ありがとうございます。秋の大会楽しみにしております。



『自然環境農法』栽培と経営紹介

長芋・大根・ごぼう・じゃがいも・他栽培



栽培者 茨城県鉾田市 ◆ 箕輪隆蔵様

箕輪様は、長芋500aを主に栽培、直接・生協や各スーパー等に年間を通して出荷しています。その他の根菜類も栽培しておりますが、すべて直接販売の為に、品質と安全性には気を配っています。特別栽培ですから、自然環境農法を100%取り入れ土づくりは勿

論、有機肥料や天然資材を活用し、農薬無使用

栽培を実践している、まさに現代農業の最先端的発想のもと、家族全員で研究心を絶えず持つての経営を行っている方です。



21年7月11日生育状況葉拡大

箕輪さんご家族

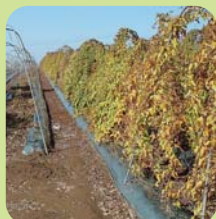


すごい長芋
なんですワン!!



21年7月11日生育状況

生産から販売までの流れ



昨年の紅葉状態



収穫作業状況



洗浄し出荷前状況



真空パック作業状況

こんなイベントにも積極的に取り組んでおられます。

自然環境農法推薦資材【トーマスクン・穂宝源・スーパー源肥・ミネラルこんぶ・創美味・ヨッテコンファーム】など、土づくりと施肥により有機質100%、農薬無使用で栽培しました。肌・巣き無し・甘味バグンと見事な栽培が出来、参加者始め、企画したイオン関係者も大満足でした。



お父さん、お母さん、お子さんも楽しい収穫です。

みんな楽しく
収穫してるワン!!



箕輪様のコメント!

トーマスとの出会いは8年になります。当初は部分的に色々な使い方を模索しながら行いましたが現在では、全ての作物において土づくりから、有機肥料まで100%お願いしての栽培です。私共では出荷先が生協始め、各スーパーなどに、直接年間を通して出荷している関係上、品質は勿論ですが、農薬などの使用にも気を配らなくてはなりません。お陰をもちまして、ここ何年間は農薬を使用しないでも栽培出来る様になり、自信もついて来ました。

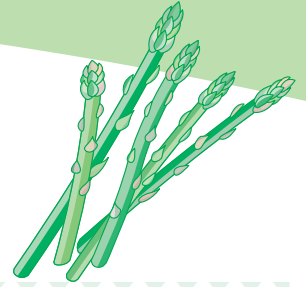
出荷先からも品質は勿論ですが、美味しさがお客様に浸透してきた為か、喜んで頂けるのと事で安定した販売が出来る様になっています。やはり、食する物ですから、有機質の肥料を主体に健康な土づくりの為に、有用微生物を活用しての栽培が一番早道だと痛感しています。今後も更なる活用方法を模索しながら、前進して行ける様頑張りしたいと思います。今後共宜しく。



有機質100%、農薬無使用栽培で来て居ます(収穫まで後1ヶ月)

『自然環境農法』栽培と経営紹介

アスパラガス栽培



栽培者 栃木県河内郡 ◆ 坂入美文様

坂入様は、大変きれい好で定評がある方です。ハウス内外が驚くほどきれいに管理され、栽培過程を見てもその気遣いがうなずけます。奥様と2人で60aのアスパラ栽培ですが見事にこなし、高い収益を上げ、アスパラ栽培談義には奥深さがあり、地域でもリーダー的な方です。

坂入さんご夫妻



圃場整備作業

12月20日頃から1月10～15日頃までは、春芽取り前の作業で大忙し。



表面焼却



畦崩し作業



堆肥散布



基肥資材散布



畦上げ完了

アスパラガスの成長



1

2月6日初芽の出始まり



2

18日頃収穫開始



3

4月20日状況



収根本数
約50本でした

4月4日現在:0.322㎡内



奥行き100mのハウスですが見通しよく、作業効率がよいとか?

7月12日状況



3月1日状況視察

基肥関係 (有機100%施肥)

【10a当り】

- 堆肥:2t目安
- 米ぬか:200kg
- スーパー源肥:10袋
- ミネラルこんぶ:5袋
- 創美味:6袋
- かつおくん:4袋
- トーマスクん:4ℓ
- 土づくりの元:6袋

この日は長野県飯山市よりアスパラ生産者の視察があり、皆さん感激と驚きでした。

坂入さんのアスパラ、甘みがあり美味しいワン!!



坂入様のコメント!

私は、バイオさんとのお付き合いは5年目になります。

土づくりが一番大切で、良いものを作る為にも、農薬を軽減するにもすべては、土壌からなんですと話を聞きなると感じました。私も農薬はあまり使いたくないと、思っていたので話が理解でき、トーマスクんなどで、土づくりから始めましたがその変わりように驚きました。土が変わりふかふかになり(これが団粒化と聞きました)土の臭いをかいだら、あまろしい香りがしたのにはまた驚きました。それ以来全面的にお世話になっていますが、おかげさまで安定した栽培ができています。なにより嬉しいのは期間中あまり農薬を使わなくなったことで気持ちが良いね、これからも宜しくお願いします。

飯山市は長野県の最北部、新潟県との県境に位置し、山間に囲まれた自然豊かな所です。冬は降雪が多く、施設栽培等は難しく、露地栽培が主力ですが、特にアスパラガス栽培は日本一の栽培面積を誇り、どこを通ってもアスパラ圃場が目の前にあらわれ、凄さを感じます。こんな産地でも、近年幾多の障害(茎枯れや天候不順等)による収穫量の激減など生産者の栽培意欲が失われ、深刻な状態を感じます。私(バイオ・グリーン会長)は3年前の春に新潟方面に向け千曲川沿いを通る国道から、左右一面アスパラ畑が目に入り感動を受けました。早速車を横道に入れ、作業していた農家の方に話を伺いました。この時深刻な状況を知り唖然とした記憶があり、以来どうしても気がかりな思いが忘れられず、2ヶ月後ふたたび訪れ中野市の知人(小林氏)に話をした処、地元の事をいつも心配している立派な人がいるからと、紹介して頂いたのが滝沢建工さんの社長さんでした。色々お話をするなかで当地の深刻な状況と社長の真剣に語る郷土思いにほだされ、以来何とか私共でもお手伝い出来ることがあると確信し、社長に案内され何人かの農家さんを訪れ現況を伺うたびに驚きを感じました。

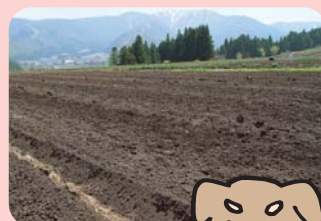
右の写真は19年9月のものですが、あちら、こちらで見うけられました(土は硬く根が張れない状態ですから枯れるのは当然です)



よくなるといいワン!!



こんな経過を踏まえ、何とかお役に立てればと滝沢社長さんと相談し、10月よりこんな状況を改善すべく、当地での説明会や宇都宮にわざわざ視察して頂いたりと本格的な取組みを開始致しました。まず、土壌環境の改善(土づくり)から開始です。立枯れ・茎枯れの根本は、根からですから健全な根張りを促がす土壌構造の改善から始めました。



皆さん、土壌の変化には驚いています。土が柔らかくなってふわふわになり、杭は簡単にするする入るし、排水も良くなり水が溜まらなくなったなど、今までとは違う、色々な変化を多くの方々に感じていただいております。

よくなって来てるワン!!



昨年からは、当地でも雪が少なかったり、天候不順(ゲリラ雨・干ばつ・長期的に晴れ日が無い)には、露地栽培が主流な地区では、生産性の低下・病害多発による障害・生育障害などで大変困っている生産農家が多い中、こんな状況でも今年が一番良かったと話してくれる生産者も自然環境農法での栽培者には多くおり、土づくりによる健全生育が大事なことに気付いて下さいました。そんな事例や指導風景のスナップ写真と共に紹介致します。



●勉強会



●立茎指導



●全体的な栽培指導

20年のキュウリですが、11月迄元気に採れました。更に病気などあまりなかった、お陰様と喜んでおりました。

21年8月27日の写真です、お陰様でここまで、昨年分より多く収穫していますとの事です。最後までどれ程の量が取れるか楽しみですとの事です。他の圃場では、お盆頃に枯れて来たのが多いと聞きますか?。

野沢地区の方ですが、この圃場は、お陰様で本年は一番よく採れていますとの事です

[21年8月28日撮影]

今年のトマトは、美味しく、良くなるはと驚いていました。《野沢地区内》

[21年8月28日撮影]

ナスですが、元気に育っています後でおはなしを聞きました、素晴らしい栽培でした有難う御座いますとの事です。



その他、皆さん今年はアスパラにしても茎枯れが多い、収量も少ない、キュウリでも病害が多く駄目ですねとか、悪い話が多い中、当農法の方は全体的に、病害が少なく農薬使用が半分以下で済んでいる。収量も、天候のわりに減っていないなど、土づくり効果が発揮して来ています。これからの普及により、当地での元気な農業を取り戻し、地域貢献出来る様頑張りたいですね。

NPO法人自然環境農法研究会がめざす農業とは 健康な土づくりによる、健全生育、 そして儲かる農業を提案して行きます。

近年来肥料や燃料、そしてそれらにかかわる資材等の高騰は、農業生産に大きな負担をあたえ、更には、生産物の価格低迷と農業を取巻く環境は一段と厳しさを増して来ている今日です。

こんな折、当研究会では少しでも改善にお役に立てればと、肥料代の軽減策、健康な土づくりから、健全生育による農業等の軽減、増収による、生産性向上を目指して、有機質資材の有効活用などの提案をさせて頂いておりますので、参考にして頂き、健全農業を取り戻して下さい。

① 堆肥〈有機質系資源〉は適量投入と、配合バランスを整える事をお勧めします。

闇雲に堆肥を入れればの行為はマイナス面も多く、逆に障害を招く事になりかねません。適正量を、出来るだけ複数の種類や成分の異なった有機物を混合する有機にし、この時、炭素率なども考慮してのバランスを整えた配合を心がける事が望ましいです。〈別紙主な有機物の成分表参照〉

② 有機栽培には、投入する有機物【堆肥・有機資材】や土中残渣など、分解・腐食体にする事が重要です。それには有用微生物群の動きは不可決です。

有機物は、そのままでは成分として寄与出来ません。分解し低分子構造になり、始めて作物が養分として吸収出来るのです。仮に農薬等の使用により土中が無菌状態では分解されず、逆に、腐敗状態を招く事も在り、反して病虫害の発生要因を作ってしまう事にも成りかねません。

③ 化成肥料と農薬は、肥沃な土づくりにはなりません。養分供給と障害等の事後対策のみです。

農業は、土が財産です。作物からしてもそうなのです。団粒構造の肥沃で健康な土壌は、作物自身が確りした根を張り下ろし、喜んで伸び伸びと健康に生育して実を結実し、栽培者の期待に答えようと頑張っているのではないのでしょうか。

④ 自然の力(天候不順等)には勝てないが、最小限に弊害を減らす事は可能です。

天候が悪かったから仕方がない栽培者の逃げ言葉です。条件は皆同じです。努力・研究した方は申しません。とかくこの様な時は市場価値も高まりチャンスかも知れません。被害は最小限にする事が重要で、この時大きく左右するのが根張り状態と作物の健全さだと思いますから、これらを支えてくれるのが、健康で肥沃な土壌なのです。

⑤ この様に色々な状況を考えますと、目先の事も必要ですが、基本は健康な土壌の壌成です。

作物から見てもそうだと思います。我々人間でもいつも健康で居たいのは当たり前の事、作物も健康に育ちたいと願って居るはずで。作物はものを申しませんが結果で表現してしまいますので、栽培者が感じ取り、土壌を労わり、作物の特性を理解してあげる事が収益性を高めて行く健全農業の原点ではないのでしょうか。

以下、NPO法人自然環境農法研究会では、(株)バイオ・グリーンの長年に至る全国の実績を参考に、更に、研究を重ねて提案していく事が、日本の農業を支える原動力になればと考えております。

研究会では、土づくりから施肥設計まで提案致しますので、気軽に相談下さい。

(株)バイオ・グリーンの業務紹介 土壌診断を基に適正な土づくり、施肥提案

自然環境農法では、皆様が安心して栽培に専念できる様に、土壌診断をさせて頂き、これに基づき、土づくりや施肥計画を提案させて頂いております。また、土壌の団粒構造化や土中残渣などの分解により土壌浄化され、病害虫などの軽減と、健全な根張りによる立派な栽培が出来る様サポートさせて頂いております。是非、気楽にご用命下さる様お待ち致しております。

自然環境農法の基本的な考え方と栽培の経緯

1番目に

土壌状況を把握する為に、まず、土壌診断結果を拝見させて頂くか、又は、当社で簡易診断をさせて頂きます。気楽に土を送って下さい。



土 壌 診 断 書						作成日: 2009年7月22日
大 橋 様	圃場	作物名: イチゴ・トマト				株式会社バイオ・グリーン研究室 栃木県宇都宮市板戸町753 TEL 028-867-1000 FAX 867-0915
住所等: 茨城県下館田内	圃場	土壌形態: 赤・団粒形成良好				
分析項目	測定値	適正範囲	判定	診断指標	診断評価メッセージ	
PH (V-カー)	6.3	5.5 ~ 8.5	(適)		自然環境農法で4年目圃場、さすがにバランスのよい状態に成りました。さて栽培後の状態では最高にバランスが整っていますね。PH値も最適ですから申し分ないです。引き続きこの状態を継続出来る様施肥を心掛けて行けば、素晴らしい栽培が出来ます。頑張ってください。次作、イチゴの土づくりと施肥提案ですが、別紙の通りで宜しくお願い致します。	
EC (dS/cm)	0	0 ~ 0.3				
アミノ態窒素 (mg/100g)	0.8	5 ~ 15	(低)	ほとんど有りません		
硝酸態窒素 (mg/100g)	2.0	5 ~ 10	(低)	ほとんど有りません		
リン酸 (mg/100g)	45.0	20 ~ 50	(適)			
カリ (mg/100g)	35.0	15 ~ 30	(高)			
石灰 (mg/100g)	350.0	200 ~ 400	(適)			
Ca ²⁺ /Mg ²⁺ (苦土) (mg/100g)	50.0	20 ~ 40	(高)			
鉄 (ppm)	8	~ 10				
マンガン (ppm)	15	~				
石灰/苦土		3.5 ~ 8.5				
苦土/カリ		1.1 ~ 2.5				
上記診断に基づく施肥計画目安値 (成分kg/10a)		《投入資材のご提案》		《投入資材のご提案》		
施肥区分	窒素(N)	リン酸(P)	カリ(K)	土づくり資材	基肥 & 追肥	
基肥				一般牛糞肥 1~1.5t	輝くん 《有機100%》 粉末 5袋	
追肥				トーマスクン&糖宝源《液体》 5袋	超味源 《有機100%》 粉末 5袋	
計	0	0	0	海藻源肥 《粉末》 15袋	創美味1号 《有機率82%》 粉末 5袋	
				スーパー源肥 《粉末》	創美味2号 《有機率50%》 粉末	
				ミネラルこんぶ 《粉末》 3袋	有機窒素 《10-0-0》 有機100%	
標準(適正) 土壌の施肥量 (本設計参考値)				土づくりの元 《粉末》 5袋	かつおエキス 《有機100%》 液体 適時適量	
施肥区分	窒素(N)	リン酸(P)	カリ(K)	ヨッテコンファーム《ペレット》 4袋	元気くん 《有機100%》 液体 適時適量	
基肥					ドットアル 液体 適時適量	
追肥						
計	0	0	0	想定される合計成分量	想定される合計成分量	

2番目に

診断結果に基づき、土壌状態や改良コメントをさせて頂き、栽培者の方にも、自分の圃場状態を理解して頂くように説明させて頂いております。



リン酸・カリ分が非常に多く蓄積されています。これらは何年もさかのぼり投入量の過多による成分の蓄積と追肥資材の成分選択の調整に欠け、片寄って来てしまったと想定されます。これ以上バランスが崩れますと、形状や着果量などにも影響が出、品質・収量面・秀品率低下なども懸念されてきます。又、苦土分も多過ぎますと微量要素欠乏症が出やすく、葉色等にも変化が出ます。今後の管理として、堆肥の量と質、追肥の成分選択の見直しによる土壌中の成分バランスの改善を提案します。

参考

3番目に

使用する目的や、土づくり資材、肥料資材の特性や効果、およびその有効成分量を目安に、作物毎の必要成分量や土壌診断による適性資材を提案させて頂きます。



作物: イチゴ	有機物施肥成分計算目安表										備 考					
	10a 当り					10a 当たり										
施肥肥料名	含有成分 (%)			炭素率 (%)	施肥量 (kg)	施肥成分量 (kg)			推定有効成分率 (%)			有効成分量 (kg)				
	N	P	K			N	P	K	N	P	K	N	P	K		
牛オガ堆肥	0.70	0.70	1.00	0.0	1,000	7.0	7.0	10.0	10	50	80	0.7	3.5	8.0	きのこ残渣	
米ぬか	1.50	6.30	1.50	0.0	300	4.5	18.9	4.5	10	50	80	0.5	9.5	3.6	20袋	
海藻源肥	1.40	2.10	1.60	0.0	225	3.2	4.7	3.6	80	80	80	2.6	3.8	2.9	15袋	
かつおくん	4.00	6.00	1.00	0.0	75	3.0	4.5	0.8	80	80	80	2.4	3.6	0.6	5袋 (線虫対策に)	
創美味1号633	6.00	3.0	3.00	18.0	100	6.0	3.0	3.0	80	80	80	4.8	2.4	2.4	5袋	
ヨッテコンファーム	1.70	0.47	2.20	0.0	80	1.4	0.4	1.8	80	80	80	1.1	0.3	1.4	4袋 (虫類対策に)	
トーマスクン&糖宝源	0.60	1.00	1.00	0.0	6	0.0	0.1	0.1	80	80	80	0.0	0.1	0.1	混合して	
ミネラルこんぶ	0.67	1.00	0.23	0.0	45	0.3	0.5	0.1	80	80	80	0.2	0.4	0.1	こたわり栽培の方	
土づくりの元	0.00	0.00	0.00	0.0	60	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	PH調整に	
合 計				加重平均	0.9519	1,891	25.4	39.1	64.5				12.3	23.6	19.1	

4番目に

1番・2番・3番等を基にして、使用資材や分量等を設定し、バランスの整った土壌と生育を促す様提案させて頂き、立派な栽培が出来、お互いに喜び合える事を目指しております。



【自然環境農法】イチゴ栽培土づくり&施肥提案

大橋英之 様

平成 21 年 月 日
 豊かな実りは、自然の土壌から
 株式会社 バイオ・グリーン
 〒321-3221 栃木県宇都宮市板戸町7-5-3
 TEL 028(667)1000 FAX 028(667)8915

イチゴ栽培園場の土づくり計画を、下記の通り御提案致しますので、ご検討頂きまして是非ご用命下さる様お願い申し上げます。

製品名	10a 当たり	備考
オガ牛堆肥	1.5~2.0t	身近な堆肥でも、
米ぬか	150~300kg 目安	穂宝源はトーマスクンと混合使用が効果大、
トーマスクン&穂宝源	初年度園場 6~8t 3年目以上園場 5~6t	上記散布後希釈散布、
海藻源肥	堆肥施用時に 15~20 袋	基礎的土壌作りです特に初年度は、お勤め致します。
ミネラルこんぶ	こだわり栽培の方は 3 袋プラスして下さい。	
土づくりの元 有機石灰(ラン酸&カキ殻)	堆肥施用と同時に 0~10 袋 通常 4~6 袋	PH により調整してご使用下さい。
かつおくん(4・6・1)	75kg 5 袋	かつおくんはミネラル分により雑虫及びネキリムシ等の病害発生を軽減。
創美味1号(6・3・3)	100kg 5 袋	残渣物や土壌検査後の残留が著しく多い場合は返して下さい。
ヨッテコンファーム	60kg 4 袋	
トーマスクン・穂宝源	2t ずつ混合で希釈散布	植え付け前(整地時)に散布、
資材使用肥料と併用の時	上記の基肥施肥目安 N・12.3 P・23.6 K・19.1、	施肥成分計算目安表参考に、調整して決めて下さい。
イチゴの標準的施肥例目安量)ですが、当社トーマスクン使用することにより施肥効果が増しますので控えめに計算し、追肥で調整する。	一般的全施肥目安 N・20.0 P・20.0 K・25.0 一般的基肥施肥目安、N・15.0 P・20.0 K・20.0 追肥目安(月1Kづつ) N・5.0 P・0.0 K・5.0 以後は、樹勢の様子を観察しながらの追肥を心がけましょう(上記は県平均の一般施肥基準で、堆肥も考慮)	
追肥は、樹勢の様子を見て数量を増減しながら散布すると良いと思います。		
☆、マルチ前に置き肥として、かつおくんを根元に施す。10a 2~3 袋目安。(高設も同様)		
トーマスクン・穂宝源	1~2t ずつ混合散布	約 20~30 日間隔散布目安量です、5 種類混合散布をお勧めします。
かつおエキス	6~8t	点滴など小まめの散布の場合にはこの比率を目安に指し散布
ドットナル	200~300cc	
元気くん	3~4t	

トーマスクン	微生物の補足により菌種の均衡と各種害等の軽減、予防を促す効果。
ドットナル	海藻の各種ミネラル分の補給による微量要素欠乏症の軽減や、実・葉等の抽出効果・健全生育バランスによる、病害等の発生軽減。
元気くん	植物性の有機肥料です、根・茎や葉などの生育に寄与します。
かつおパワー	動物性の有機肥料です、実を生成するのに寄与します。
穂宝源・宝水	動物性の活性剤肥料です、基礎土壌生成や微生物の餌とし増殖に寄与。
菌メダル2号	植物性の有機肥料に微量要素配合、更に重水素の良い水を使用した物です、根・茎や葉などの生育に寄与します。

自然環境農法とは

自然に排出される自然の資源を活用し、有用微生物群(アープ・トーマス・オルガ菌)商品名:トーマスクンを応用して、健康な土づくり(土壌環境の整備)を行い、連作障害・病害虫等の発生を抑制し、農薬等の軽減は勿論、高品質栽培を可能とする農法のことです。

5 儲かる農業 土づくりを基本と考え、生産者の栽培に対する、研究心と作物に対する愛情です。

アープ・トーマス・オルガ菌(トーマスクン)と私たち

歴史に刻まれた偉大なる開発者アープ・トーマス博士は、自然界と人間の関係について、「食料に必要な栄養の根源は土壌にあり」と半世紀以上にわたり土壌とバクテリアと農作物との関係について研究をし、豊かな土壌ほど数多くの「微生物」が存在することを発見し、以来研究を重ね、1905年ついに誰も成しえなかった「土壌バクテリア」の利用法と純粋培養に成功し、人類史上はじめての「分解菌」とし、その名を「トーマス菌」と名付けました。

時を経て、曾田陽彦氏との奇跡的出会いにより、私はこの話を聞いたとき、全身が身震いする感動を覚え、以来行動を共にし、研究と実用に向け没頭し、1997年全国の主産地での臨床栽培を重ね、利用方法を確立して1999年より、「アープ・トーマス・オルガ菌」現行商品名「トーマスクン」を、健康な土づくり資材として全国に普及して参りました。

そして、この様な偉大なる遺産を応用し、環境問題・食の安全性と人間の健康・そして農業問題を含め、日本農業の在り方を検証し、今、私たちにできること・土壌環境を改善し、豊かな農業を、後世に引き継ぐことに、を念頭に、(株)バイオ・グリーンと、NPO法人自然環境農法研究会から発信し、同志と共に学び、当農法の素晴らしさを普及して行く事が使命であり、環境問題にも、日本の農業改革にも貢献できる事と思っております。

情報コーナー

紋羽病の改善

果樹類などに多く発生し、難病とされている病気ですが、数多くの改善結果が出ております。お困りの方ご相談下さい。

アスパラ等の茎枯れ対策

根張りが弱く、生育バランスの崩れから、茎元が冒されてしまいます。改善には健康な土づくりによる、健全生育を促がす事が一番近道の対策です。

根こぶ線虫でお困りの方

キュウリ・トマト・メロン・パセリなど、各地区で多発し困っている方が多いですね。各地の産地や圃場で改善されている実績があります。ご相談下さい。

その他、幾多の障害等でお悩みの方

連作障害・病害虫問題・生理的障害・収穫量が年々減少しているなど、栽培していると色々な障害と直面していないですか？。しかし農業頼みはあまりしたくない、経費も掛けたくない、収益も上げたいと思うのは当たり前です。当社では、障害等を根本から《土壌環境》改善・提案を致しております。是非ご相談下さい。

バイオ・グリーンより 新製品のご案内



海藻源肥

動植物・海藻粉末・カニガラ類を配合し、微生物応用リーチング技法により分解・醗酵した土壌改良と健康な土づくり、高収益栽培には欠かせない万能肥料です。

葉面散布剤

バイオ・ガード



【用途】

- すべての植物・野菜類の活性化
- 天候不順等により根の働きが弱り、草勢が衰えた時の回復・病害発生が予測される時の予防
- 果菜・野菜類・花卉類等の高品質化などに最適。

【製法】

- 天然海藻エキス・有用微生物群・フミン酸・酵素・量子エネルギー照射水混合の特殊製法

NPO 法人 自然環境農法研究会 入会案内



今、私たちにできること・・・
土壌環境を改善し、豊かな農業を
後世に引き継ぐために・・・

【運営趣旨】

儲かる農業【家族で楽しい職業として】を目指し、会員相互に研究し合い発展して行く事を一番の目標としています。その為には、栽培技術の向上は勿論、適正なバランスを整えた施肥、健全に生育出来る土壌環境の構築(健康な土づくり)などの研究を重ね、幾多の障害や、経費等の軽減を図り、高品質で多収穫を得、そして食する人に喜んで頂く事がすべてと考え、又、日本農業を明るく希望の持てる職業にしていく為に、会員同志が頑張れる会に育てて行きたいとおもっております。

【会員募集要項】

入会希望の方は事務局、ホームページ内入会申込書にて、問い合わせ、お申し込み下さい。

入会金:2,000円【初回のみ】 年会費:5,000円【年1回徴収させていただきます】

登録完了後、会員証を送らせて頂きます。

【事業内容&特典】

- 年次報告会、研修会・親睦会を兼ね、全国大会の開催
- 勉強会、各地区毎による栽培指導、ゴルフコンペ等の開催
- 会報の、年2~4回発行予定(会員の栽培紹介や情報の発信)
- インターネットサービス(ホームページの情報提供活動)
- 土壌診断の初回無料化、2回目以降半額提供。土づくりと施肥計画書の提案
- 購入資材の会員価格提供
- 流通に関する相談、市場斡旋

NPO法人自然環境農法研究会

〒321-3221 栃木県宇都宮市板戸町753
TEL 028-902-1007 FAX 028-667-8915
ホームページ<http://www.biogee.jp>

株式会社バイオ・グリーン

〒321-3221 栃木県宇都宮市板戸町753
TEL 028-902-1007 FAX 028-667-8915
ホームページ<http://www.biogee.jp>